

伝えよう、三計と半九の教え

# そっけん 息軒だより



令和2年度 10・11月号 (第22号)

発行 宮崎市安井息軒記念館  
管理 NPO法人 安井息軒顕彰会  
理事長 齋藤義輝  
館長 川口眞弘  
〒889-1605  
宮崎県宮崎市清武町加納甲 3378-1  
Tel:0985-84-0234 Fax:0985-84-2634  
e-mail:[sokken.yasui@pic.bbiq.jp](mailto:sokken.yasui@pic.bbiq.jp)

一日の計は朝(あした)にあり  
一年の計は春にあり  
一生の計は少壮の時にあり



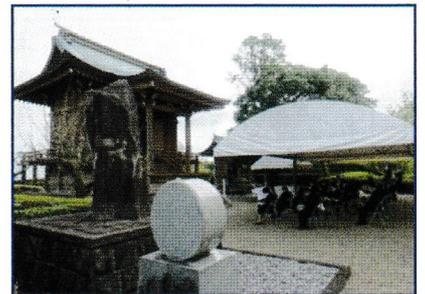
QRコードを読み取ると、記念館のHP  
がご覧になれます。

## ★令和2年9月22日 安井息軒顕彰活動盛大に！★

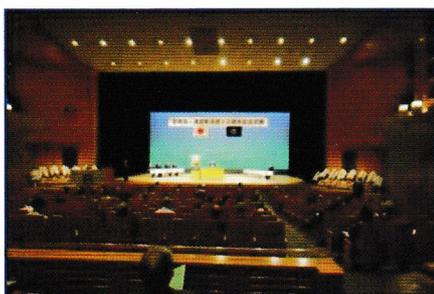
### ～まず先人祭～

明治9年9月23日、日本を近代化に導いた知の巨人、安井息軒はちょうど20番目の三計塾に当たる東京土手三番町の百畳ほどもある屋敷でたくさんの弟子たち、そして家族に看取られながら77年の生涯を閉じました。中国の古典『戦国策』の中にある「百里の道を行くものは九十里をもって半ばとす」から「半九」と号し、見えなくなった目と弱った体でも最期の最期まで偉業を重ねた偉人の終焉しゅうえんでした。

例年この命日に、安井息軒を筆頭に、平部きょうなん嶺南や阿萬豊蔵、川越進等々清武郷並びに宮崎県の発展に貢献した幾多の先人たちの偉業を偲ぶ先人祭が開催されます。今年は暦の関係で22日に開催されました。当日は新型コロナウイルス感染防止対策の関係もあり、参加者を絞った状態で先人たちのご遺族、市長をはじめとしたご来賓の皆様ご臨席のもと、粛々と儀式が執り行われました。



### ～続いて宮崎市・清武町合併10周年記念式典～



その後、会場を清武文化会館・半九ホールに移して宮崎市・清武町合併10周年記念式典が執り行われました。まず「宮崎市・清武町合併記念ムービー」が上映され、市長式辞並びに市議会議長のご挨拶の後、式典を飾るにふさわしい県指定無形民俗文化財「船引神楽」が上演されました。

### ～そして安井息軒記念講演会～

一連のセレモニーの最後を飾ったのは、安井息軒記念講演会でした。今回は記念すべき講演会ということで、講師は旧清武町時代の教育長で旧きよたけ歴史館の館長も務められた、神川孝志先生にお願いしました。講演では、安井息軒を中心にその偉大な父である安井滄洲そうしゅう、そして孫にあたる安井小太郎(朴堂ほくどう)について語っていただきました。演題は、

「偉大なり 滄洲、息軒そして朴堂先生 ～修身治人を視点として～」でした。

安井息軒は、「学問は修身治人のほかにはない。この両様さえ失わなければ、天地に恥ずべきことはない」として生涯を全うしましたが、これは滄洲、朴堂にも通じるものであり。今回は3人の生涯をこの視点から語られました。

(文責：川口)



## 記念講演会 概要



安井息軒は、「学問は修身治人のほかにはない。この両様さえ失わなければ、天地に恥ずべきことはない」として、生涯を全うしたが、それは息軒の父滄洲、孫朴堂（小太郎）にも通じるものであり、今回はこの3人の生涯を修身治人の視点から語られた。

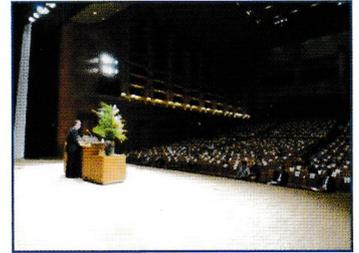
滄洲は幼い頃から異彩を放ち、この世に生を受けたからには、この世の役に立つことを為すべきであると志を立て人材育成を通して飢肥藩に尽くすことを決意。江戸、大坂で古学を学び、有志仲間と明教堂を創建し、藩校振徳堂で総裁となるなど飢肥藩における子弟の教育に尽力した。また、当時の経済文化の中心であった城ヶ崎の文人たちとの交流を通して清武に学芸の基盤をつくった。人望厚く、旅を愛し、清武・飢肥の学風を樹立した。

息軒は、父のもと学問に励み、後大坂、江戸へ遊学し昌平黌に入る。学問の最高峰への自己実現を目指す息軒の決意を知った時、同僚たちの嘲笑はやがて畏敬の念に変わっていった。松崎謙堂に師事し、郷里に帰って明教堂、振徳堂で教鞭をとり、父の死後江戸へ出て三計塾を開く。谷干城の入門を決意したときの件が『隈山論謀録』にあり、息軒の学識の高さと程朱学にこだわらない学問の柔軟さ、人間としての懐の深さに感銘して入門を決めたことが書かれている。特に各藩の逸材が最後に訪れるのが三計塾であった。息軒の特異性は、「管子」を扱ったことである。近世以前の東洋で「法」が説かれた古典は「管子」のみで、息軒はこの法思想を組み込み、これが門下生をはじめ息軒の思想に影響を受けた人々により近代西洋の法治国家思想の導入につながっていった。明治になり、様々な試練に遭うが、学問への姿勢はいささかも変わらず、「弁妄」を著し、押し寄せる西洋文明の正体について、東洋の儒者としての責任を果たしたともいわれる。息軒は、江戸期漢学を集大成し、日本近代化の学問的土壌をつくった。

朴堂は息軒の孫として生まれ、父は尊皇攘夷の志士中村貞太郎（北有馬太郎）、母は息軒の長女須磨子である。父の獄死後息軒に引き取られ安井氏を称するに至る。島田篁村の双桂精舎、三島中洲の二松学舎で学び、学習院、北京大学堂、大東文化学院などで教鞭を執った。その業績としては、息軒の蔵書・文献等の散逸を防ぎ、「論語集説」などを漢文大系に収録、整理した。また膨大な資料を基にして「日本経学史」「日本儒学史」を著し、論語の「上に居て寛ならず、禮を為して敬せず、喪に臨んで哀しまずんば、吾何を以て之を觀ん哉」を「論語講義」で「肝心の精神の欠けているものには、観るべきものはない」と分かりやすく解説している。朴堂は温和朴直、清貧に生きた息軒に通じる高潔な人格者で、その生涯を通して、漢学の興隆と人材の育成に尽くし「近代漢学の泰斗」と称されている。

滄洲、息軒、朴堂先生は、清貧に生きた生涯を通して、漢学の研究発展に優れた業績を残し、幾多の優秀な人材を育成した、真に修身治人の先哲である。その地道でスケールの大きい事業に想いを寄せ、その素晴らしさを学びながら、記念館のある郷土宮崎の偉人として敬慕していきたい。

(文責：長野)



★好評開催中 いよいよ11/3まで!!★

「北有馬太郎 ～伝馬町に散った志～」

会 期：11月3日（火・祝）まで  
 時 間：9：00～16：30（入館は16：00まで）  
 会 場：宮崎市安井息軒記念館 特別展示室  
 入場料：無料



息軒がその才と人間性をこよなく愛した義理の息子・太郎。学問と尊王攘夷活動の狭間で葛藤しながら、尊王の志士として散った35年の生涯を紹介します。

★安井息軒顕彰書道展 自由研究作品展 絵画展 好評開催中★



※展示は11月1日(日)まで

安井息軒記念館バスツアー

～飫肥街道を歩く～



山仮屋関所跡をはじめ、飫肥街道の史跡を巡ります。

日時：12月13日(日) 9:00～15:30

料金：2,500円(昼食代、保険料等含む)

定員：20名

※12月6日(日)までに電話・FAX・窓口でお申し込みください。

〈お申し込み・お問い合わせ〉

安井息軒記念館 TEL：0985-84-0234 FAX：0985-84-2634



今回は街道の山道  
かなり歩きます。  
水筒・タオル・帽子  
マスク・筆記用具持参

★第2回安井息軒記念館講座開催される!!★

9月5日(土)、安井息軒顕彰会の顧問でもある宮崎大学教育学部、山本宣宏准教授を講師にお迎えして、第2回安井息軒記念館講座を開催しました。先生はまだお若いですが、京都大学大学院をご卒業され、書や漢籍等に大変造詣の深い方です。

今回は宮崎大学に保管されている、安井息軒から島田篁村に宛てた書簡を紹介されました。島田篁村は昌平坂学問所の儒官で、息軒の無二の親友であり、塩谷宕陰しおのやとういんの弟子でもありました。

山元准教授は基本的事項について説明されたうえで、書簡について原文に基づいて分かりやすく解説され、息軒の日常や人と接する温かい側面についてお話しくださいました。

※記念館講座これからの予定

第4回講座 11月14日(土) 10:00～11:45 「明治維新 息軒の底力」  
安井息軒顕彰会会員 諸岩則俊氏

第5回講座 12月5日(土) 10:00～11:45 「飫肥藩が育てた小村寿太郎」  
宮崎産業経営大学法学部教授 甲斐睦教氏



新型コロナウイルス感染防止対策のため、講座の定員を30名としておりましたが、現在の感染状況を踏まえ、40名程度といたします。興味がある方は記念館までご連絡ください。

## 第35回国民文化祭・2020 みやざきに協力

10月24日(土)宮崎市オルブライトホールで開催される「全国漢詩の祭典」では漢詩コンクール入賞者の表彰式があります。全国から来県されますので、安井息軒の偉業や功績を知っていただくため、顕彰会は受付横に「安井息軒コーナー」を設けパネル展示や図書、かるた、漫画等の販売を、清武小学校はステージで劇「安井息軒物語」と合唱「安井息軒先生」を披露します。また安井息軒の構成吟や「写真で見る安井息軒の紀行文と漢詩」及び「安井息軒の漢詩」等の発表が予定され、オルブライトホールは一日中「安井息軒デー」になりそうです。次号で詳細を報告します。



清武小学校児童による劇の練習風景

## 息軒旧宅の清掃

前日は大雨でしたが、9月12日(土)早朝は雨が上がり、午前8時から顕彰会会員が手分けして、息軒旧宅の除草や木の剪定等の清掃を行いました。

旧宅敷地内には二十数本の梅の木がありますが、老木が多いため枝や幹が枯れているものもあり、行政当局に樹木医の診断をお願いしているところです。

今後の清掃予定日は10/31(土)、12/12(土)、2/9(火)です。どなたでもご参加いただけます。皆様のご協力をお願いいたします。



作業が終わってほっと一息…

## 令和2年度梅まつりに向けて実行委員会会議



9月26日(土)第3回梅まつり実行委員会を行いました。毎年、旧暦の正月、安井息軒の誕生を記念し、2月11日の祝日に盛大に実施しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催する方向で進めています。しかし、新型コロナウイルス感染の状況によっては国や県・市の働きかけがあることも考えられ、先行きは不透明です。追って状況をお伝えします。

## 安井息軒が食した「仲平豆」を学校給食に採用?!



安井息軒が青年時代に大阪に遊学、苦学した際に、本を購入するため食事を切り詰めて食した「仲平豆」を、宮崎市の小中学校の給食に取り入れていただくために、学校給食センターの所長、管理栄養士等の方々と協議しています。大豆を塩と醤油で煮詰めたといわれる「仲平豆」ですが、いざ給食に取り入れようとする、塩分のバランス、食感等、クリアすべき課題はたくさんありそうです。

ぜひ取り入れていただきたいものです。実施後は児童生徒の感想を掲載したいと思います。



## <引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください>

- ・来館時はマスクの着用をお願いいたします。
- ・正面玄関に消毒液を設置しております。手指の消毒をお願いいたします。
- ・入館時に「利用者名簿」へのご記入と検温にご協力ください。



## 会員随時募集中

NPO 法人 安井息軒顕彰会では令和2年度の会員を募集しています。

### 年会費

- 一般会員 2,000円
- 賛助会員 1,000円
- 学生会員 500円
- 団体会員 5,000円 (1口)



各種お問い合わせ、会員の近況報告、情報提供などがありましたら事務局までご連絡ください。

☆新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの日程等の変更や中止の可能性があります。詳しくは記念館までお問い合わせください。(0985-84-0234)

## NPO 法人 安井息軒顕彰会

事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納甲 3378-1  
(宮崎市安井息軒記念館内)

電話:0985-71-3005 携帯:080-8589-0569

e-mail: yasuisokken@yahoo.co.jp

